

STAGE+を楽しむ(12)(HP 収載)

—エレーヌ・グリモー—

1. 始めに

前報(11)に引き続き、STAGE+の試聴を実施します。

2. 試聴音源

STAGE+の最新収録情報から、エレーヌ・グリモーとカメラータ・ザルツブルクのエルプフィルハーモニーのホールでの演奏を選びました。

Helene Grimaud and the Camerata Salzburg: Mozart & Schumann

Elbphilharmonie

Performance date: 30/03/2022

Helene Grimaud joins forces with the Camerata Salzburg at Hamburg's Elbphilharmonie for a programme that starts with two minor-key masterpieces by Mozart works she sees as "symbolically represent[ing] encounters with fate". Grimaud is the soloist in the dramatic Concerto in D Minor, K. 466, before the orchestra, directed from the front desk by concertmaster Giovanni Guzzo, tackle the composer's Symphony No. 40. In the second half, pianist and orchestra perform a minor-key concerto from a later generation: Schumann's Piano Concerto, given here in a performance of revelatory chamber intimacy. As an encore: a work by another composer to have accompanied Grimaud through much of her career, Valentin Silvestrov.

Soloists:

Helene Grimaud (Piano),

Giovanni Guzzo (Concertmaster)

Ensemble:

Camerata Salzburg

Wolfgang Amadeus Mozart

Piano Concerto No. 20 in D Minor, K. 466

Helene Grimaud(Piano)

Wolfgang Amadeus Mozart

Symphony No. 40 in G Minor, K. 550

Robert Schumann

Piano Concerto in A Minor, Op. 54

Helene Grimaud(Piano)

Valentin Silvestrov

The Messenger (For Piano and Strings)

Helene Grimaud(Piano)

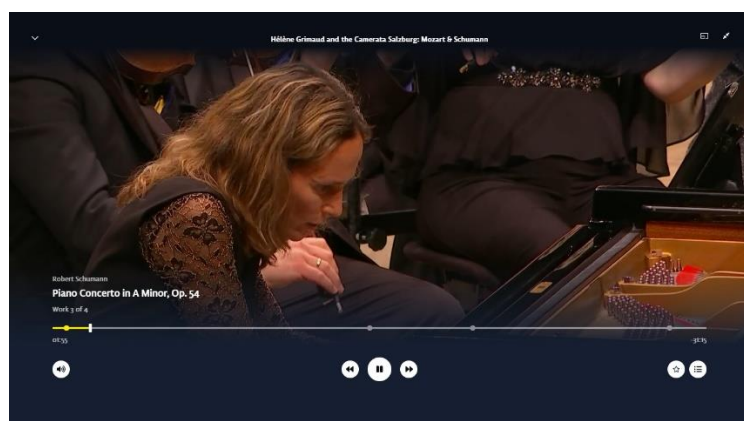


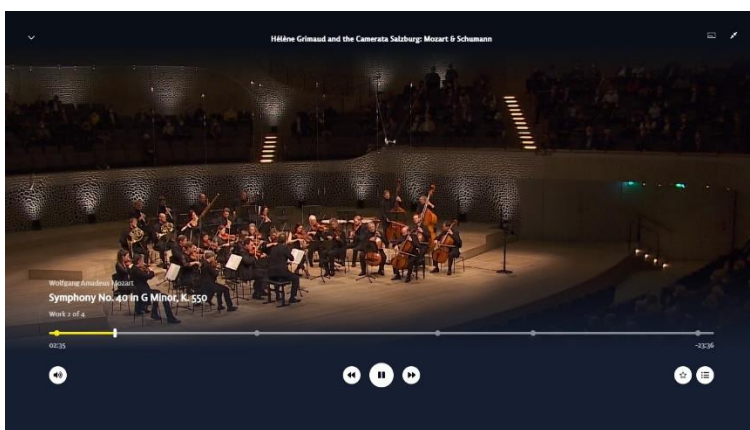
今回も再生経路の仮想アースに加えて、電磁波吸収テープ NRF-005T の導入(17)で報告した LAN ケーブルへの NRF-005T の適用を行っており、STAGE+の再生時には、ルーター/スイッチングハブ間およびスイッチングハブ/PC 間の LAN ケーブルへの処理が関係しています。

3. 試聴の経過

新規の画像付き音源のリストから上記のプログラムを選択して再生していきます。

上記はエルプフィルハーモニーでの演奏の収録です。





モーツアルトのピアノ協奏曲 20 番と交響曲 40 番はお馴染みの曲で、最近もモーツアルト盤を聴くのシリーズアナログ盤を聴いています。

ピアノ協奏曲 20 番では、グリモーが、とんとんと調子よく弾いていき、カメラータ・ザルツブルクもそれに呼応していきます。

交響曲 40 番では、広いエルプフィルハーモニーのホールでの、指揮者のいない、メンバーの少ない室内管弦楽団のカメラータ・ザルツブルクの演奏がアップテンポ気味に、切れのよい爽やかな演奏であり、アナログ時代とは一線を画す解釈のように感じます。

シューマンのピアノ協奏曲は、ごく最近、マルタ・アルゲリッチとダニエル・バレンボイム指揮ベルリンフィルの演奏について[放送ストリーミング情報\(2023No.274\)](#)で報告しています。アルゲリッチの力強い迫力とグリモーのスピード感のある切れ味の良い演奏が、それぞれの魅力ですが、ともに聴衆の盛んなスタンディングオベーションを浴びていました。この曲を比較するかぎり、音の良さで定評のあるベルリンフィル大ホールに劣らず、エルプフィルハーモニーのホールの音響特性も良さそうです。

Silvestrov の **The Messenger** は、神秘的な夢幻性の漂う曲です。

以上、モーツアルトとシューマンとシルヴェストロフの異なった表情が、仮想アースや NRF-005T の効果に助けられて確認することができました。

4. まとめ

エレヌ・グリモーとカメラータ・ザルツブルクのエルプフィルハーモニーにおけるモーツアルトとシューマンとシルヴェストロフのそれぞれの味わいをもった演奏の最近の収録を視聴し、仮想アースや NRF-005T の効果が確認できました。

以上